



宗岡二小だより

学校教育目標

○よく考える子 ○やさしい子 ○たくましい子

志木市立宗岡第二小学校

令和3年度 No.3

令和3年6月1日

志木市上宗岡3丁目13番1号

TEL 048 - 473 - 2305

児童数 6月1日現在 389名



「梅雨です 読書のススメ」

校長 可知 良之

さわやかな5月が終わり、少々うっとうしい梅雨の季節になりました。今年は例年より長梅雨になりそうです。コロナ禍でのステイホーム期間でもありますので、こんな時こそ子どもたちには下校後、本を読んでもほしいのですが、最近の小学生の読書事情をいろいろと調べてみると驚きの実態があるようです。

学研教育総合研究所が小学生とその保護者1200組を対象に読書に関する調査を行ったところ、小学生の読書量は30年間で約1/3に減少していることが分かりました。1989年の調査では1ヶ月の読書量（1ヶ月で何冊読むか）全学年平均9.1冊だったものが、2019年の調査では3.1冊にまで減っていました。学年が上がるにつれ読書量は少なくなる傾向にあり、最も少なかったのは5年生の2.3冊でした。そして、私が一番気になったのは、4年生から6年生までのなんと約3割の子が、1ヶ月間1冊も読まなかったと答えていたことです。テレビの視聴時間は30年前とほぼ変わりはなく、遊びの時間も読書量にこれだけの影響を与えるほど増えてはいません。

一方、全体の77%の子が自由に使える通信機器がありゲームに1日平均45分、動画の閲覧に1日平均45分程度費やしていることも分かりました。どうやら、読書

の代わりにスマホでゲームとユーチューブで動画の鑑賞というのが今の子の実態なのかもしれません。

ただし、読書もただすれば良いというものでもないようです。東北大学加齢医学研究所の川島隆太所長は、読書時間を確保するために勉強や睡眠の時間を削ってしまうことが間接的に成績低下を招いてしまうのではないかとして4万人の小中学生を対象とした調査を行ったそうです。調査の結果から、読書時間が長いほど成績は高い傾向にありましたが、最も成績を上げていたのは1～2時間読書をしている子どもたちだったそうです。（2時間以上は逆に低下）

全国学力学習状況調査でも、読書時間が増えると国語の正答率が高くなる一方で、読書時間が長い方が成績が下がってしまう子どもたちもいることが分かっています。これは、読書の質に違いがあるらしく、長時間漫然と読むよりも短時間集中して読む方が質の良い読書になるそうです。また、いろいろなジャンルの本を幅広く読む子の方が読解力は伸びることが分かっています。天才子役といわれた女優の芦田愛菜さんは読書好きで有名ですが、大人が読むような本もたくさん読んでいたと聞いたことがあります。読書も好き嫌いなく読むことが大切なのでしょう。読書の秋ならぬ読書の梅雨。多読のススメです。